

# 倉吉コントラクター組合

## 1. 組合の概要

設立：平成16年度

組合員数：9名（全て酪農家）

活動内容：飼料用トウモロコシの収穫調整作業

活動範囲：倉吉市内

## 2. 設立の経緯

飼料用トウモロコシは収量・栄養成分の面から優れた飼料作物であるにもかかわらず、労働力不足や機械の老朽化により作付け面積は減少傾向にある。そこで、前年度設立された「大山ビューコントラクター組合」と同様に飼料生産作業を受託する組織を設立し高効率な刈り取り機械を導入することで、労働力不足を解消し、高品質な飼料の生産に取り組むこととした。

## 3. 活動内容

### (1) 刈り取り機械について

既存機械：2条刈りコーンハーベスター

導入機械：6条刈りコーンハーベスター（ニューホランドFX30）

平成16年度総合コントラクター育成事業

事業費23,450千円、補助金7,816千円

### 効果 ~ 農家の声 ~

- ・個人で機械を揃えるよりは、安価ですむ
- ・収穫に2条刈りだと一日かかっていたところが、2時間半で終わった
- ・裁断長が短く、茎等もつぶれているので、調整が容易だった

### (2) 収穫面積について

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
組合員 (うち二期作)	51.36 (2.5)	51.58	未精算： ほぼ前年並み
非組合員	1.48	1.0	1.5
合計 (うち二期作)	52.84 (2.5)	52.58	未精算： ほぼ前年並み

### (3) 作業料金

収穫運搬作業受託料金（円/10a）

組合員	非組合員
9,000	10,000

オペレーター出役料金（円 / 1人）

自走式ハーベスター（1日）	ダンブカー（1時間）	ショベルローダー（1時間）
12,000	1,000	1,000

機械借り上げ料金（円 / 1台）

ダンブカー（1日）	ショベルローダー（1日）
5,000	5,000

#### 4. 課題

利用料金が他県に比べて高い

受託面積を増やし利用料を下げる。

生産体系が一段落した。これからは機械の故障等、維持経費が必要。

二毛作は、2作目が高水分で乾物量が低い。1作でしっかり栽培する。

#### 5. 今後考えられる効果

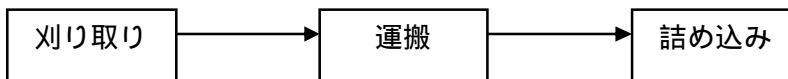
- ・品質向上と収穫量の向上。5t/10a と乾物量の増加を目標。
- ・組合員個々による栽培面積増加を主にした受託作業面積の増加を図る。  
他組織に栽培を任せると品質低下を懸念する。

#### 6. 作業体系

6条刈り・2条刈り

ダンブカー

ショベルローダー・人力



6条刈りコンバイン

